

地域医療連携室

フレンディーだより

Community medicine cooperation room



院内講演会「最新の褥瘡管理」について(H24.2.20)



2012

vol. **40**

H24.5 発行

黒部市民病院 黒部市三日市1108-1

E-mail : friendly@med.kurobe.toyama.jp

新年度を迎えて



院長 新居 隆

地域医療に日頃から情熱を傾けて取り組んでおられる医療関係の皆様へ、新しい年度を迎えて黒部市民病院から感謝をこめてごあいさつ申し上げます。

本院が取り組んでおります地域医療に、日頃よりさまざまな形でご協力やご提言をいただきありがとうございます。地域包括医療はわれわれの目指すべき課題であります。新年度にあたり新採用職員を含む全職員に、地域の医療関係者との協力・連携の重要性と病院の内と外とのチームワークの重要性を強調しました。新川地域では、地域医療の連携に関しては皆様とのタッグを組むなかで、さまざまな先進的な取り組みを実践してきました。これは地域として誇ってよいと思います。医師会や病院だけでなくすべての医療関連機関が有機的に情報の共有と意思の疎通を果たすことが、地域住民の健康の回復と維持あるいは、納得できる医療・介護の享受につながります。これを少しずつ進めていくことが肝要だと思います。その姿勢で今年度の黒部市民病院の主な事業を説明します。大きな事業は電子カルテシステムの更新と病院改築工事の着工です。

電子カルテシステムの更新に際し、システム自体は標準化を基本とし、これまで以上に医療情報の共有（扇状地ネットなど）がスムーズに行えるように工夫します。また、皆様からの紹介患者さんの診療・検査の予約の幅を広げ、容易にアクセスできるように計画したいと考えています。

外来診療棟改築工事はこれまで計画の作業が続いてきましたが、今年度から着工します。老人保健施設カリエールの新築から始まりますが、全ての工事が完了するのは平成28年度末になります。これからまだ4年もかかりますが急性期医療とめまぐるしく変わる医療の進歩にいつでも対応できる構造を最重点テーマにして病院の形を進化させていきます。

しかし、建物や設備をどれだけ充実させても、そこに活動する医療者が研鑽を積み優秀なスタッフとして育たなくては意味がありません。とりわけ、地域の医療関係者とのチームワークが円滑に発揮されなければ地域医療に貢献することはできません。病院の姿勢は地域に開放されたものでなければならず、地域の皆さんとともに悩み、高めあうことがもっとも重要な課題であると考えます。そのような考えに立ち、院内のカンファレンスや研修会を原則オープンで実施するように努めています。是非、黒部市民病院で開催される研修会やカンファレンスにご参加いただき、意見の交換と認識の共有を図ってまいりたいと思います。また、改築に際しては、会議室やカンファレンスルーム、研修実習室などを充実整備する予定ですのでご利用いただけたらうれしい限りです。

新川地域医療の発展と成熟のためにもともに汗を流そうではありませんか。

新しいアルツハイマー病 (AD) の治療薬について



精神神経科 部長 安井 伸一

認知症の増加とともに、アルツハイマー病に対しての薬物も注目されるようになってきた。ADの記憶障害はコリン作動性神経の障害が認知機能低下の一つの要因であるとするACh仮説に基づき、ACh作動性神経機能を高める治療薬としてアセチルコリンエステラーゼ (AChE) 阻害薬が開発された。AChE阻害薬は分解酵素の抑制によりシナプス間隙のアセチルコリン (ACh) の濃度を高めることで、伝達を促進するという機序を有し、認知機能を改善する効果が期待される。わが国でも1999年より現在まで用いられてきたドネペジルが代表的なものといえる。

昨年より上記に加えて作用機序を異にするガランタミン (レミニール)、リバスチグミン (エクセロン)、メマンチン (メマリー) が使用できるようになった。

ガランタミン：AD患者では皮質および海馬に存在するニコチン性アセチルコリン受容体 (nAChR) が大幅に減少していることが報告されている。剖検脳でnAChRの欠損が認められ、欠損の度合いと認知機能の重篤度には相関が認められるとされる。剖検による研究より前脳基底部分におけるコリン作動性神経の脱落が進行するとともに大脳皮質のnAChRも脱落するとされる。ガランタミンはAChE阻害作用とnAChRを賦活化させるアロステリック (別の形) 作用をもつ。これらの2つの作用によりシナプス間隙のAChのみならず他のモノアミンレベルも上昇するといわれている。それにより認知機能、周辺症状の改善が期待される。

リバスチグミン：正常脳におけるコリンエステラーゼ活性の多くはAChEによるものであるが、ADの進行に伴いAChEは低下し、その一方でブチリルコリンエステラーゼ (BuChE) 活性が増加するとされる。そのため両方の酵素を阻害することによりADにおいて脳内のAChの濃度を上昇させることが示唆されており、伝達を維持することができる可能性がある。リバスチグミンは前記2つの酵素を阻害することでADの進行を抑制する可能性が示されている。

メマンチン：グルタミン酸やアスパラギン酸等の興奮性アミノ酸 (EAA) は大脳皮質、海馬における神経伝達物質であり、学習と記憶のメカニズムに関連しているといわれている。ADではEAA経路の機能障害が記憶障害などの症状とEAAの神経毒性が病因に関与しているといわれている。メマンチンはグルタミン酸受容体のサブタイプであるN-メチル-D-アスパラギン酸 (NMDA) 受容体の阻害薬である。そのためグルタミン酸による神経毒性からの神経保護作用が期待される。

現在AD発症、進行を完全に抑制することはほぼ不可能であることより、ADの症状改善療法としてのAChE阻害薬の意義はしばらくの間はかわらないと考えられている。

平成24年度 新任医師紹介

内科



医師
上川 康貴
専門：腎臓疾患
膠原病



医師
小黒 真希子
専門：内科一般

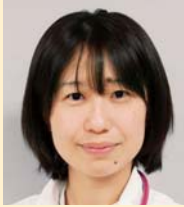


医師
西川 智貴
専門：消化器内科



医師
原田 智也
専門：循環器疾患
内科一般

小児科



医師
平岩 明子
専門：小児科一般

外科



医師
萩野 茂太
専門：消化器外科
内視鏡外科



医師
加納 俊輔
専門：消化器外科

整形外科



医師
本江 充昭
専門：整形外科一般

産婦人科



医師
福田 香織
専門：産婦人科一般



医師
小野 洋輔
専門：産婦人科一般



泌尿器科



医師
浦田 聡子
専門：泌尿器科一般

耳鼻咽喉科



医師
塚田 弥生
専門：耳鼻咽喉科一般

形成外科



医長
原島 要人
専門：形成外科一般

放射線科



医師
杉 盛夏樹
専門：放射線科

臨床研修医2年生



まつ い あつし
松 井 篤

臨床研修医1年生



いなみ まいこ
井波 真矢子



うえ の はる な
上 野 春 菜



こう の たつ ひこ
河 野 達 彦

臨床研修医1年生



なか がわ とも み
中 川 朋 美



ゆ あさ たか ひろ
湯 浅 貴 博



え もと けん じ
江 本 賢 二



ほり こし けい すけ
堀 越 慶 輔

トピックス

院内講演会「最新の褥瘡管理」について

去る平成24年2月20日、当院栄養サポート委員会および褥瘡対策委員会の共同主催により、東京大学大学院医学系研究科老年看護学分野教授・日本看護協会副会長である真田弘美先生を講師に迎え、「最新の褥瘡管理」と題し、講演会が催されました。

講演の主な内容は、熟成した研究結果より①褥創保有患者の重症度にあわせた栄養管理の推奨、特に蛋白質の重要性、②ポケットが出来た褥瘡の処置の基本は洗浄して治療、重症褥瘡でもほぼ2カ月で治癒する。根気よく行うことが必要である。③防ぎきれない褥瘡はあるのかということでは1%は防ぎきれないアクシデント、他は看護師の知識不足、患者の循環不全、マットレスの問題などあげられました。ブレイデンスケールを作られたバーバラ・ブレイデン先生は真田先生が最も尊敬される恩師でいらっしゃるようですが、バーバラ先生より「ここ15年、日本ほど褥瘡対策が進んだ国はない。アメリカにはないチーム力とチーム医療に対する加算などといった行政の後押しがあることが素晴らしい。」と日本の褥瘡対策に対する評価を受けたことを喜んでおられ、更に「それで日本の患者は幸せになったの？」と、大切なナースのマインドということを常に気づかせて下さることが素晴らしいと述べておられました。先生は「医師と看護師のための褥瘡の治し方、全日本病院出版社会 2011」褥瘡アセスメント・ケアガイド第2版、中山書店、2009ほか多数の著書のほか、褥瘡対策に関連した論文なども多く出しておられ、洗練された高い水準である講演内容に医師のほかコメディカルの参加者は熱心に聞き入っていました。

お知らせ



● 医師の異動（4月1日）

科	転出	→	転入
内科	田中 章浩		小黒真希子
	丸山 仁		上川 康貴
	徳久 英樹		西川 智貴
			原田 智也
小児科	渡辺 祐紀		平岩 明子
外科	中沼 伸一		萩野 茂太
	寺川 裕史		加納 俊輔
整形外科	頭川 峰志		本江 充昭
産婦人科	佐藤 幹奈		福田 香織
	竹村 京子		小野 洋輔
泌尿器科	釣谷 晋二		浦田 聡子
耳鼻咽喉科	北川 典子		塚田 弥生
放射線科	折戸 信暁		杉盛 夏樹
形成外科	台蔵 晴久		原島 要人

● ホームページをリニューアルしました

4月1日に当院のホームページをリニューアルしました。以前より見やすく、充実した内容になりましたので、ぜひご覧ください。

<http://med-kurobe.jp/>

講演・勉強会のご案内

1. 新川胸部疾患検討会

日時：毎月第2木曜日
午後6：30～
午後8：00
場所：本館3階 指導室

2. オープンベッドカンファレンス

日時：偶数月の第2水曜日
午後6：45～
午後7：45
場所：本館3階 指導室

3. 内科カンファレンス

日時：毎週火曜日
午後6：40～
場所：本館3階 指導室